

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

平4-27771

⑫ Int. Cl. 5

F 03 G 7/10

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)1月30日

7713-3G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 永久機関

⑮ 特 願 平2-132868

⑯ 出 願 平2(1990)5月23日

⑰ 発明者 中川 和夫 山形県山形市鉄砲町2丁目22番10号

⑱ 出願人 中川 和夫 山形県山形市鉄砲町2丁目22番10号

明細書

4. 図面の簡単な説明

1. 発明の名称

永久機関

2. 特許請求の範囲

物体が入力エネルギーなしで動き続ける原動機

3. 発明の詳細な説明

(1)回転軸1につるされた回転ドラム2の中に回転おもり3を置き。

(2)3に回転宙づりおもり、5を3と5の連結ベルト4で連結して宙づりにする。

(3)共通回転おもり7を、2と5の連結ベルトチェーン6で連結して、これも宙づりにする。

(4)この構造で中心線ハーニより、7が左側に位置することになるので、左側が重くなり左に回転を始める。

(5)つまりこの現象は、2. 3. 5. 7の連結方式から発生する、重力エネルギーの作用によるものである。

(逆に構造を変え、この図の2より3を大きくした場合は、大きいおもりの位置する方が重くなる。)

(6)材質、形状、構造を問わず、重力エネルギーを活用することにより、永久機関が可能となる。

1 は回転軸

2 は回転ドラム

3 は回転おもり

4 は3と5の連結ベルト

5 は回転宙づりおもり

6 は2と5の連結ベルトチェーン

7 は共通回転おもり

イ及びロ間は6の遊びの部分

ハーニは回転物体の中心線

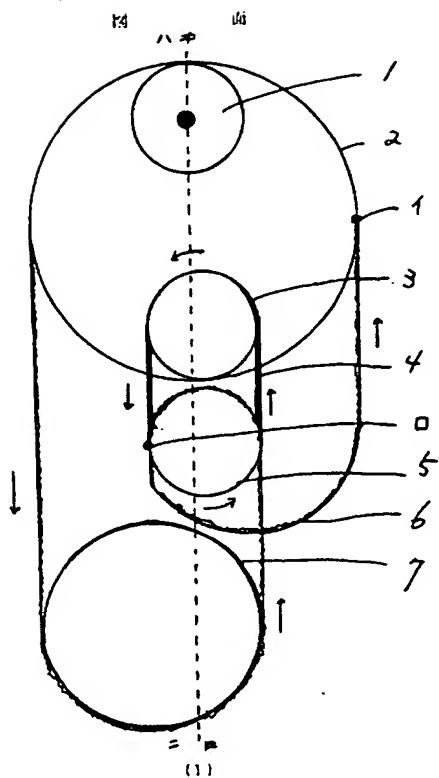
矢印は回転方向を意味する

以上

手続補正書(自発)

平成 3.2.5 年月日

特許庁長官 植松 敏郎



1. 事件の表示

平成2年特許第132868号

2. 発明の名称

永久機関

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

山形県山形市鉄砲町2-22-10

中川和夫

4. 補正命令の日付 自発

5. 補正の対象

明細書全文および図面

6. 補正の内容

別紙の通り

方式審査



訂正明細書(全文)

1. 発明の名称

永久機関

2. 特許請求の範囲

回転駆動軸(1) につるされた回転ドラム(2) の内側に回転銷り(3) を配し、該回転銷り(3) に回転宙振り銷り(5) を配置して両者を連結ベルト(4) で連結する。共通回転銷り(7) を回転ドラム(2) と回転宙振り銷り(5) の連結チェーンベルト(6) で連結すると共に、共通回転銷り(7) を中心線A-Aの左側に位置させることを特徴とした永久機関。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、重力エネルギーを利用した永久機関である。

〔従来の技術〕

従来、磁力を利用した永久運動や重力エネルギーを利用した永久機関は、理論上成立したとしても、実際に作動させた場合には摩擦抵抗等の不測のエネルギーの消耗によって作動しない

ということが通説となっている。

〔発明が解決しようとする課題〕

発明者は、重力エネルギーを利用した永久機間に關して種々研究した結果、本発明の構成に到達したものである。

〔課題を解決するための手段〕

本発明は、重力エネルギーあるいは浮力を利用し、回転駆動軸に対して、偏心位置に吊下げられた回転銷りを設けることによって、回転駆動軸は偏心方向に回転を起し、さらに慣性を繰返すことによって回転が持続するものである。

〔作用〕

そして、この回転軸の駆動は不变であって発明者の作業場において現在も駆動し続けており、発電機やモーターの代替えとして十分利用できる回転力を有する。

〔実施例〕

添付図面により本願発明を説明すると、図は本発明の永久機関の構成を示す実施例であって、回転駆動軸(1) に外接してつるされた回転ドラム(2) の下方に内接して回転する銷り(3) を配置し、この回転銷り(3) に宙振りされて回

転する歯り(5)を配置し、この回転歯り(3)と古づりされている回転歯り(5)を連結ベルト(4)で連結する。そして下方に共通回転歯り(7)を配置し、この共通回転歯り(7)を回転ドラム(2)と回転古づり歯り(5)の連結チェーンベルト(5)で連結する。そして、この共通回転歯り(7)の配置に当っては、回転駆動軸(1)の中心から延長される中心線A-Aの左側に偏心させて設けるものである。

したがって、図面に示す実施例にあっては、共通回転歯り(7)は中心線A-Aの左側に配設されていて、しかも各回転歯り(3)、(5)、(7)は回転ドラム(2)とチェンベルト(4)および(6)で連結されているため矢印に示すように始動し、しかも歯りが吊下げられているため摆動を繰返すことによって常に回転を続けるものである。

また、図示はしていないが、共通回転歯り(7)を中心線A-Aの右側に偏心して配置した場合は図の矢印と逆方向に回転することが可能

である。

さらに、回転ドラム(2)よりも内接する回転歯り(3)の径を大きくすることも可能である。

そして、駆動軸(1)の回転力は共通回転歯り(7)重量によって調整できるものである。

本実施例においては重力エネルギーについて説明したが、浮力を応用しても同様の原理で作動するものである。

(効果)

この回転軸(1)の回転力は不变であって、歯りの重量を調節することによって回転力を調整できるため種々の動力源として利用できるものである。

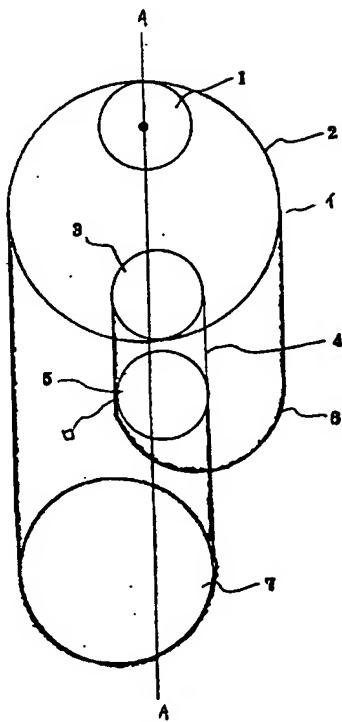
4. 図面の簡単な説明

図は本発明の永久機関の構成を示す実施例図である。

- (1) …回転駆動軸、(2) …回転ドラム
- (3) …回転歯り、(4) …連結ベルト
- (5) …回転古づり歯り、(6) …連結チェンベルト
- (7) …共通回転歯り

特許出願人 中川和夫

図面



PAT-NO: JP404027771A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04027771 A

TITLE: PERPETUAL MOBILE

PUBN-DATE: January 30, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAGAWA, KAZUO

INT-CL (IPC): F03G007/10

ABSTRACT:

PURPOSE: To adjust torque in a perpetuum mobile whigh utilizes gravitational energy or buoyancy by providing a rotary weight suspended at a position eccentric to a rotary driving shaft, and thereby adjusting weight of the weights without changing a torque of the rotary shaft.

CONSTITUTION: A weight 3 which is rotated inscribing a lower side of a rotary drum 2 circumscribingly hung from a rotary driving shaft 1 is arranged, and a weight rotated while being suspended from the rotary weight 3 is arranged. The rotary weight 3 is connected to the suspended weight 5 through a connection belt 4. A common rotary weight 7 which is arranged eccentrically to the left side of a center line A-A extended from a center of the rotary driving shaft 1 is connected to the rotary drum 2 by means of a connection chain belt of the rotary suspended weight 5. Since the common rotary weight 7 is arranged on the left side of the center line A-A, the left side becomes heavier and the weight 7 begins to rotate leftward. Oscillation is repeated because the weight 7 is suspended and rotation is always kept, thereby the rotary driving shaft 1 inscribing the rotary drum 2 is rotarionally driven.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (2):

CONSTITUTION: A weight 3 which is rotated inscribing a lower side of a rotary drum 2 circumscribingly hung from a rotary driving shaft 1 is arranged, and a weight rotated while being suspended from the rotary weight 3 is arranged. The rotary weight 3 is connected to the suspended weight 5 through a connection belt 4. A common rotary weight 7 which is arranged eccentrically to the left side of a center line A-A extended from a center of the rotary driving

shaft 1 is connected to the rotary drum 2 by means of a connection chain belt of the rotary suspended weight 5. Since the common rotary weight 7 is arranged on the left side of the center line A-A, the left side becomes heavier and the weight 7 begins to rotate leftward. Oscillation is repeated because the weight is suspended and rotation is always kept, thereby the rotary driving shaft 1 inscribing the rotary drum 2 is rotarionally driven.

Title of Patent Publication - TTL (1):

PERPETUAL MOBILE